

潜在的なメモリリーク

内容

- [潜在的なメモリリーク](#)
 - [ICSeverity](#)
 - [影響](#)
 - [説明](#)
 - [Syslogメッセージ](#)
 - [メッセージサンプル](#)
 - [製品ファミリ](#)
 - [正規表現](#)
 - [推奨事項](#)
 - [コマンド](#)

潜在的なメモリリーク

ICSeverity

4 – 警告

影響

高 – メモリリークによりデバイス全体がクラッシュし、デバイスがクリティカルな場合はネットワークが停止する可能性がある

説明

Polarisソフトウェアバージョン16.3.3以前を実行するCisco Catalyst 3850/3650スイッチでは、platform_mgrプロセスによるメモリ使用量の増加を示すメモリリークが発生する場合があります。この問題の詳細については、『Cisco Field Notice FN70110』および『不具合CSCvd45973』を参照してください。警告のしきい値は90 %です。次のいずれかのメッセージがログに表示されます。%PLATFORM-4-ELEMENT_WARNING:Switch 1 R0/0: smand: 1/RP/0: Used Memory value 91%が警告レベル90%を超えているか、%PLATFORM-3-ELEMENT_CRITICAL:Switch 1 R0/0: smand: 1/RP/0: Used Memory value 96%がCritical level 95%を超えています。

Syslogメッセージ

PLATFORM-4-ELEMENT_WARNING

メッセージサンプル

```
Apr 10:10:10 <> %PLATFORM-4-ELEMENT_WARNING: Switch 1 R0/0: smand: 1/RP/0: Used Memory value 91% exceed
```

製品ファミリ

- Cisco Catalyst 3850 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 3650 シリーズ スイッチ

正規表現

N/A

推奨事項

syslogメッセージは、指定されたコンポーネント（この場合はルートプロセッサ）の使用済みメモリが、容量に近づき、事前定義された警告しきい値である90%を超過したことを示しています。メモリ使用量が増加し続けると、デバイスのパフォーマンスに影響を与え、最終的にはサービスを中断するメモリ不足状態が発生する可能性があるため、この状態は監視する必要があります。デバイスのリロードでは、次のコマンドを使用して、ソフトウェアからメモリリークの問題をクリアすることにより、一時的な緩和を提供できます。router# reloadただし、根本的な状態がまだ存在しているため、恒久的な解決策はソフトウェアのアップグレードのみです。この問題は、16.5.x、16.6.x、およびそれ以降のリリースを実行しているスイッチには影響しません

コマンド

```
#router
```

```
#show version router
```

```
#show platform router
```

```
#show logging router
```

```
#show platform software process list switch active R0 sort memory
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。